

歯科診療所

ななクリニックだより

2020年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年だったように感じます。

歯科治療は当初、歯を削る際などに唾液や血液を含んだ飛沫が多く生じるゆえ、受診は危ないなどとも言われました。しかし元来、歯科治療は感染の機会が多い職種であるため、コロナ禍以前より、感染症予防の教育は徹底されており、当院においてはあらゆる感染症に対し“感染は一瞬、感染してしまったら一生の付き合いになるかもしれない”と考えており、スタッフの感染防止対策とし、ワクチン接種の徹底、フェイスシールドやゴーグルを使用し、器具等の滅菌は歯科業界の中でも最高レベルのものを使用しておりました。とはいえ新型コロナウイルス感染症は未だ未知なことも多く、まずできることとしては、これまでの経験を参照し、良いと思われることは実行していくことと考えられます。

インフルエンザに関する研究で明らかになっておりますが、インフルエンザ予防には、インフルエンザワクチンの接種、手洗い、うがいですが、お口のケアをしっかり行っている方は感染を起こしにくいことや重症化を防ぐことがわかっております。これは歯周病の原因となる細菌がウィルスの感染を助ける酵素を出すため、適切な歯磨きを行うことや歯科治療を受けることでお口の細菌が少なくなりウィルス感染そのもののリスクを下げるができるためと言われております。また、適切な歯科治療を受け、よく噛める状態にすることで、免疫力の低下予防に寄与することが考えられます。したがって、インフルエンザの感染リスクを低下させることを参考にし、口腔ケアや歯科治療はしっかりと行っていくことが望ましいと考えられます。今後、春にかけてインフルエンザウィルス等の蔓延により感染症のリスクなども上がってきますので、ご高齢の方だけでなく若年層の方々もお口のケアの強化を行ってみたいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症により生活が制限されることも多くありますが、私にとってはオンラインによるセミナーの充実により、足を伸ばすことなく自宅で勉強する機会に恵まれた1年にもなりました。

2021年もスタッフ一同丁寧な取り組みを継続し、新たな取り組みを行っていけるように邁進してまいりますので本年も歯科診療所ななクリニックをよろしくご願ひ申し上げます。

院長 櫻井奈々

